

平成29年度 第1回南丹市文化財保護審議会

日時：平成29年9月1日（金）

午後2時～

場所：南丹市役所3号棟2階第4会議室

1. 開会

2. 教育長挨拶

3. 会長挨拶

4. 協議事項

(1) 南丹市文化財事業について

ア、事業の報告（平成28年度）

イ、事業の概要（平成29年度）

ウ、京都府暫定登録文化財について

(2) 報告

・南丹市指定文化財に係る取組について

樹木観察バスツアー（7月15日）

平成29年度さくら楽習館「歴史講座」（8月21日）

5. その他

・文化博物館夏季企画展示「小出文庫」 見学

6. 閉会

博物館・資料館事業

☆施設管理運営事業

文化博物館・郷土資料館ともに、開館から15年以上が経過し、部品の摩耗等による設備の修繕が目立つようになってきた。緊急度に応じて、予算の範囲で修繕を行った。また、施設管理運営事業費については、光熱水費や設備点検等が主な内容となるが、経費節減や価格交渉により支出を抑える努力をした。

文化博物館入場者数一覧

(単位:人)

| 月 | 大人 | | 学生 | | 小人 | | 幼児 | 計 |
|-----|------|------|----|-----|----|-----|----|-------|
| | 有料 | 無料 | 有料 | 無料 | 有料 | 無料 | — | |
| 4月 | 36 | 47 | 1 | 1 | 5 | 10 | 4 | 104 |
| 5月 | 77 | 48 | 29 | 2 | 2 | 23 | 5 | 186 |
| 6月 | 47 | 4 | 4 | 0 | 1 | 79 | 0 | 135 |
| 7月 | 80 | 71 | 3 | 2 | 5 | 145 | 5 | 311 |
| 8月 | 82 | 30 | 4 | 1 | 3 | 23 | 2 | 145 |
| 9月 | 108 | 78 | 2 | 80 | 5 | 4 | 2 | 279 |
| 10月 | 289 | 885 | 8 | 0 | 3 | 412 | 4 | 1,601 |
| 11月 | 549 | 103 | 29 | 85 | 8 | 28 | 10 | 812 |
| 12月 | 52 | 0 | 0 | 0 | 2 | 5 | 2 | 61 |
| 1月 | 29 | 0 | 5 | 0 | 3 | 0 | 0 | 37 |
| 2月 | 37 | 13 | 0 | 0 | 5 | 2 | 0 | 57 |
| 3月 | 46 | 10 | 2 | 0 | 4 | 23 | 4 | 89 |
| 合計 | 1432 | 1289 | 87 | 171 | 46 | 754 | 38 | 3817 |

※ 10/18・19は「関西文化の日」のため入館無料

日吉町郷土資料館入場者数一覧

| 月 | 開館日数 (日) | 大人 (人) | 高大生 (人) | 小中生 (人) | 招待券 (人) | 無料入場 者数(人) | 合計 (人) |
|----|-------------|-----------|------------|------------|------------|---------------|-----------|
| 4 | 22 | 73 | 209 | 10 | 0 | 27 | 319 |
| 5 | 23 | 290 | 18 | 59 | 5 | 62 | 434 |
| 6 | 21 | 205 | 1 | 31 | 0 | 60 | 297 |
| 7 | 24 | 109 | 1 | 7 | 1 | 42 | 160 |
| 8 | 26 | 165 | 18 | 58 | 5 | 132 | 378 |
| 9 | 22 | 55 | 0 | 7 | 0 | 2 | 64 |
| 10 | 23 | 271 | 4 | 57 | 2 | 15 | 349 |
| 11 | 20 | 83 | 0 | 4 | 6 | 83 | 176 |
| 12 | 16 | 57 | 1 | 3 | 0 | 33 | 94 |
| 1 | 12 | 6 | 0 | 0 | 0 | 2 | 8 |
| 2 | 16 | 35 | 1 | 2 | 0 | 124 | 162 |
| 3 | 22 | 91 | 0 | 4 | 2 | 20 | 117 |
| 計 | 225 | 1440 | 253 | 242 | 21 | 602 | 2558 |

※ 11/21・22は「関西文化の日」の為、入館無料

☆展示会事業

① 文化博物館春季企画展「学校のあゆみ～八木地区編～」

平成 27 年 3 月に南丹市八木町域の八木・富本・吉富・新庄・神吉小学校が閉校し、同年 4 月から八木西・八木東小学校に再編された。これらの学校は明治初期に設立された学校を前身とし、140 年を超える歴史をもっている。明治初期の学校は、現在のように教育制度が整っておらず、月謝や町村税、寄付金など住民の負担により運営されるのが原則であった。このため、就学率は約 3 割と高くなかったものの、学校設立は地域にとって一大事業であった。

本展は、南丹市八木町域の学校がどのようにして誕生し、地域に根ざしていったかを紹介した。また、学校沿革誌や学校日誌などを手掛かりとして当時の学校と地域の関わりについても考える機会とした。特に、明治初期の学校設立に奔走した人々や教育に情熱を注ぎこんだ教師たちにも改めてスポットをあてた。

期 間:平成 28 年 4 月 16 日から 5 月 29 日

開館日数:38 日間 展示点数:約 200 点 入館者数:264 人

② 文化博物館夏季企画展「戦争と南丹市～平和の使者・青い目の人形～」

文化博物館・郷土資料館では平成 24 年度以降、戦後 70 年に向けた取り組みを行ってきた。平成 27 年、戦後 70 年という節目の年を迎えたが、今後、戦争体験者が減少し、戦争の記憶が薄れていくことが予想される。ついては、地域博物館の役割のひとつとして戦争の悲惨さ平和の尊さを後世に伝える取り組みを継続していかなければならないと考えた。

本展は、昭和 2 年、日米友好の証としてアメリカから日本各地に贈られた青い目の人形にスポットをあてた。人形の多くは戦争時に敵国の人形として、その多くが破棄されてしまったが、京都府内には 8 体、滋賀県内には 4 体の「青い目の人形」が現存している。これらを中心に、当時の写真や書簡などの歴史資料から人々の暮らしや社会の様子を紹介した。

また、南丹市内においても、小学校再編に係り学校所蔵資料の調査を行ったところ、学校沿革誌や学校日誌にもこの青い目の人形を受け取り、歓迎会を催した記録が残されている。残念ながらその詳細を知ることはできないが、こうした身近な事例についても紹介し、平和について考える機会とした。

期 間:平成 28 年 7 月 16 日(土)～8 月 28 日(日)

開館日数:38 日間 展示点数:約 100 点 入館者数:423 人

関連事業:紙芝居『青い目の人形』

講 師:中野 恭子(京都府城陽市在住)

日 時:平成 28 年 7 月 27 日(水)①11:30～12:00②14:30～15:00

平成 28 年 7 月 29 日(金)①10:00～10:30②10:40～11:10

③11:45～12:15 ④14:15～14:45

会 場:南丹市立文化博物館 1階 ラウンジ

③ 文化博物館夏季特集展「新聞・号外でふりかえるオリンピックの歴史」

2016年8月5日から8月21日までブラジルのリオデジャネイロで第31回夏季オリンピックが開催された。ブラジル国内はもとより、南アメリカ大陸でオリンピックが開催されるのは初めてであった。また、2020年には東京で2回目となるオリンピックが開催される。文化博物館ではこれを記念して、オリンピックの歴史を新聞号外でふりかえる展示会を開催した。

号外は、いまでは大事件・事故などが起きた際、朝刊や夕刊の締め切り時間に間に合わず、次の新聞を出すまで時間があるときなどにできるだけ早く、読者にそのニュースを知らせるために無料で発行される。ただ、現在は衛星放送やインターネットなどが普及し、同時または即時に情報が流される。このため、号外を持つ意味合いも少しずつ変わってきているのかもしれないが、新聞には強い説得力があり、今なお根強い人気がある。

今回の展示会は、アムステルダム五輪で日本人初の金メダルを手にした織田幹雄の号外や日中戦争の影響等から開催中止となった幻の東京五輪の号外などを展示した。時代や社会情勢に影響されながらも開催されてきた五輪の歴史を振り返る機会とした。

期 間:平成28年7月16日(土)～8月28日(日)

開館日数:38日間 展示点数:約100点 入館者数:423人

④ 第40回全国育樹祭記念・文化博物館秋季企画展「吉田伊佐展～四季のうつろい～」

平成28年、京都府では、森林への関心をさらに高め、府民参加の森づくりを拡大する契機として、第40回全国育樹祭が開催された。その会場の一つとして、10月9日には府民の森ひよしにおいて式典が行われた。

この全国育樹祭が南丹市でも開催されることを記念して、日展や白日会などを中心に活躍した日吉町中出身の吉田伊佐氏の作品を紹介した。伊佐氏の作品については、平成25年度に日吉町郷土資料館にて回顧展を開催したところであるが、日本の風景を堅実な写実力で描き続ける伊佐氏の魅力にひかれ、再度開催を望む声もあることから、育樹祭開催記念として開催することとした。

この展示会では、「四季のうつろい」をテーマとし、伊佐氏が京都の四季を描いた作品を中心に紹介した。色彩豊かな新緑や深みのある紅葉風景が描かれた作品を展覧し、森林そして自然に対する大切さ、素晴らしさを感じる機会を提供することを目的とした。

期 間:平成28年9月17日(土)～10月16日(日)

開館日数:28日間 展示点数:約50点 入館者数:1714人

⑤ 文化博物館秋季特別展「秋野不矩展～創造の美～」

南丹市制10周年を記念して、南丹市にゆかりのある作家「秋野不矩」の作品展を開催した。

秋野不矩は明治41年(1908)7月、静岡県磐田郡二俣町(現浜松市天竜区二俣町)に生まれる。石井林響・西山翠嶂らに師事し、昭和5年(1930)、第11回帝展出品作「野を帰る」が初入選。昭和23年(1948)年、日本画の革新を目指して結成された創造美術(現創画会)に上村松篁、奥村厚一、向井久万、山本丘人、吉岡堅二らと参画する。翌24年から、京都市立美術専門学校(現京都市立芸術大学)に助教授として就任。昭和37年(1962)、インドの大学へ1年間客員教授として赴任し、日本画の指導を行ったことを機に、その後10数回に渡ってインドを訪れこの地をモチーフとした作品を多数発表する。昭和55年(1980)からは、南丹市美山町和泉に移住しアトリエを構え、平成13年(2001)に亡くなるまでの20年近くをこの地で過ごした。

本展は、不矩の初期から晩年に至る作品及びその素描画、スケッチブックなどを展示した。また、美山町を拠点とした創作活動の様子や関連する作品についても紹介した。

期 間:平成 28 年 10 月 22 日(土)～11 月 27 日(日)

開館日数:32 日間 展示点数:約 50 点 入館者数:967 人

⑥ 工芸展(南丹市工芸家協会展)

南丹市在住または、南丹市内に創作活動の拠点を置く工芸家で組織される「南丹市工芸家協会」が、主催する第 4 回作品展を開催した。

期 間:平成 28 年 10 月 8 日(土)～10 月 16 日(日)

開館日数:9 日間 展示会場:文化博物館 1 階(西側)

出展内容:出展者数 12 名、展示総数 20 点(陶芸・木工・染織・漆工芸)

⑦平成 28 年度春季企画展「昭和のくらしと道具展」

昭和 30 年代後半から始まった高度経済成長は、人々の生活はもとより、社会全体に大きな変革をもたらした。素材一つにしても合理化が推し進められ、それまで大半を占めていた木や鉄製のものはプラスチックやステンレス製などへと置き換えられていった。そして、さらなる発展を遂げた現在では、機械化・デジタル化が加速し、より便利なものとなっている。展示会では、現在より少しむかし、おもに昭和時代に活躍していた道具を紹介した。現在のものと比較することで、不便だったゆえに先人たちの知恵と工夫がたくさん詰まっているものや、木など自然素材から生み出された道具から温もりや優しさなどを感じてもらおう機会とした。

期 間:平成 28 年 4 月 16 日(土)～5 月 29 日(日)

開館日数:33 日 展示点数:約 90 点 入館者数:726 人

⑧ 郷土資料館夏季夏季企画展「鮎の道」

かつての天若地区では、自給的な農業を基本に豊かな森林資源を活用した林業、大堰川を利用した筏流しや舟運、そして川漁などの稼業を季節ごとに組み合わせるくらしを行ってきた。このような森と川のめぐみを受けたくらしは、天若地区はもとより、周辺の山里地域の特色でもある。

そうした背景を有する天若地区と周辺地域が、平成 28 年 3 月に「森林生態系や河川生態系等の多様な生態系が文化的景観と相まって雄大で美しい景観を有し、傑出性が高い風景地といえる」(「京都丹波高原国定公園の指定及び公園計画の決定案の概要」より)として、国定公園に指定された。今後は「森の京都～森・川・里に守り継ぐ自然と文化」をテーマに、適切な保護と利用が図られることになった。

この展示会では、森と川のめぐみを受けた人々のくらしに注目して、天若地区で行われていた鮎漁を取り上げた。特に同地区には、鮎を生きたまま京都の間屋へと徒歩で運搬するアユモチと呼ばれた人々がいたことから、その稼業に焦点をあてるとともに、使用された桶や通行したルートを紹介した。また、鮎漁の道具をはじめとして、関係する古文書や絵図などを展観し、大堰川および由良川流域周辺の歴史と文化の諸相にも迫る内容とした。

期 間:平成 28 年 7 月 16 日(土)～8 月 28 日(日)

開館日数:36 日間 展示点数:約 90 点 入館者数:506 人

⑨ 郷土資料館秋季特別展「山里のくらし—材木生産と大堰川水運—」

京都丹波高原国定公園内にふくまれる日吉町天若地域周辺のくらしは、自給的な農業を基本に豊かな森林資源を活用した林業、大堰川を利用した筏流しや舟運、川漁などの稼業を季節ごとに組み合わせることに特色があった。夏季企画展「鮎の道」では、そのひとつである川漁をテーマし、鮎をめぐる周辺地域の歴史と文化をふりかえった。

平成 28 年度は、「森の京都」のターゲットイヤーであり、さらには中核イベントとして 10 月 9 日には府民の森ひよしを会場に、第 40 回全国育樹祭の記念式典が実施された。そうした動向をふまえ、この展示会においても夏季展示会に引き続くかたちで、森と川のめぐみを受けた天若地域周辺のくらしに焦点をあてることとし、森林資源を利用した材木や薪の生産と、それらを運ぶために利用された大堰川水運の概要を紹介した。

特に薪は、「世木の千把（センバ）」と呼ばれ京都でも有名であり、ガスが各家庭に普及するまでその需要は大きいものであった。つまり、都市部の生活を支えていたのが現在の南丹市域周辺であることや、それをつないでいたものが大堰川水運であることを再確認していただき、当地域に受け継がれてきた歴史文化を感じ取れるような内容にした。

期 間：平成 28 年 10 月 8 日（土）～12 月 4 日（日）

開館日数：42 日間 展示点数：約 80 点 入館者数：525 人

⑩ 平成 28 年度収蔵品展「むかしのくらしと道具展」

今から 50 年ほど前には、「三種の神器」にたとえられたテレビ・洗濯機・冷蔵庫を生活に取り入れることがステータスとされ、人々がそれに向かっていった時代があった。しかし、その少し前の暮らしをしてみると、人々は自然の材料を利用した家に住み、ほとんどが木や竹でできた道具を使って日常生活を営んでいたが、時の経過とともにそのような生活道具も次第に使われなくなり、捨てられ忘れさられていった。今回の展示会は、毎年社会科見学で訪れる市内の小学 3 年生の生徒たちが、教科書に掲載されている農具や民具の実物を見て学習できるよう配慮した。また、展示されている農具を实际使ったの体験も同時に行った。

期 間：平成 29 年 1 月 28 日（土）～3 月 20 日（月・祝）

開館日数：33 日 入館者数：

☆体験講座開設事業

日吉町郷土資料館

平成 28 年度郷土資料館における体験講座は、5 月恒例の「府民の森ひよし新緑祭」から始まる。昨年の反省より、イベント内容を「親子で遊ぶ」をテーマで実施した。資料館はかやぶき民家を中心に季節感を重視して体験講座を行うことをモットーとしている。体験講座の中で使用する野菜に関しては大方、民家横の畑で栽培したもので賄うことを基本としているが、外敵と戦い、収穫までたどり着くのは、かなり厳しい。そんな中、今年は大豆の収穫がすこぶるよく、毎年訪れる市内の小学校の社会科見学に昔の道具を使って、大豆の脱穀体験を提供することができた。また、脱穀後の大豆で、一般の体験講座で味噌づくりも実施。今後、郷土資料館としての意義ある講座を目指したい。

○府民の森ひよし「新緑祭」関連イベント

5月のゴールデンウィーク期間中、京都府およびスチールの森京都(府民の森ひよし)共催で郷土資料館内において各種の事業を行った。

平成28年5月3日(火・祝)

・「洞窟探検」 午前10時～正午(要予約)

場 所：郷土資料館裏山

案 内：郷土資料館館長 辻健二郎 他当館職員2名

内 容：資料館裏山にあるケイ石掘削跡を探検した。洞窟の中での探索や散策コースとして、府民の森ひよしが新たに整備したコースを歩き、里山についての府民の森発行のクイズカードをもとに、里山に生息する鳥や木について学びながら散策してもらった。

参加人数:16人

・「つくってあそぼう銭太鼓」 午後1時～3時

場 所:南丹市日吉町郷土資料館かやぶき民家

指 導:四ツ谷いきいきサロン・コスモスのみなさん

内 容:出雲地方の伝統民謡の安来節で演じられるもので、簡単なリズム楽器として、お年寄りから子どもまで楽しめるものである。四ツ谷いきいきサロンの皆さんに実演していただき、身近にある簡単なものを使って銭太鼓をつくり、曲に合わせて参加者皆さんで体験してもらった。

参加人数:20人

平成28年5月4日(水・祝)

・「つくってあそぼう」 午前9時～午後4時30分

場 所:南丹市日吉町郷土資料館かやぶき民家及び敷地内

指 導:当館職員

内 容:かやぶき民家内では折り紙やトイレットペーパーの芯、割りばしなど身近な材料を用いて作れるおもちゃを紹介した。屋外では、竹馬・シャボン玉・割りばしロケットなど行った。

参加人数:76人(資料館全体の入館者数)

平成28年5月5日(木・祝)

・「餅つき大会」 正午～

場 所:南丹市日吉町郷土資料館中庭

協 力:ボランティアグループさくらんぼ

内 容:かやぶき民家の敷地内において、ボランティアグループさくらんぼのみなさんの協力で、来館者の方々と3臼(9キロ)の餅をついた。

・「紙ヒコーキ飛ばし大会」 午後2時～4時

場 所:南丹市日吉町郷土資料館中庭

担 当:資料館職員

内 容:参加希望者を募り、自身で作成した紙ひこうきで飛距離を測定し、結果により1位から3位までを表彰、当館手作りの賞状とメダルの授与式を行った。

エントリー人数:34人

○体験講座「朴葉ご飯づくり」

実施日:平成28年6月19日(日) 午前10時～正午

場 所:南丹市日吉町郷土資料館かやぶき民家

指 導:伝承料理ボランティアグループさくらんぼ

内 容:日吉地域では、田植え時の“こびる”に朴葉にくるんだご飯を食べる習慣があった。季節がら朴葉が青く繁るころ、殺菌作用があることからこの葉を用いてご飯を包むことが行われていたという。郷土資料館では、季節を感じる体験講座として毎年実施している。

参加人数:25人

○体験講座「白みそづくり」

実施日:平成28年11月20日(日) 午前10時～正午

場 所:日吉町郷土資料館 かやぶき民家

内 容:正月の白みそづくりは、かつて親から子へと家庭の中で、伝統的な味を守り続けてきた文化であり、毎年資料館において郷土の伝承料理として紹介し続けてきたものである。

協 力:ボランティアグループさくらんぼ

参加者:13人

○体験講座「読み聞かせコンサート」

実施日:平成28年11月23日(水・祝) 午後1時30分～3時

場 所:南丹市日吉町郷土資料館かやぶき民家

協 力:ボランティアグループさくらんぼ

内 容:美山在住のおはなしボランティア「赤ずきん」とフォークソンググループ「あぜみち」をコラボを企画した。「赤ずきん」のみなさんには、オリジナルの美山を題材にしたおはなしや昔話を「あぜみち」のみなさんには、懐かしいフォークソングややはり美山を歌ったオリジナルソングを披露してもらった。

参加人数:17人

○体験講座「締め縄づくり」

実施日:平成28年12月23日(金・祝) 午前10時～午後3時

場 所:南丹市日吉町郷土資料館かやぶき民家及び周辺

講 師:塩貝佳素夫氏(南丹市日吉町胡麻在住)・磯部 茂氏(南丹市日吉町四ツ谷在住)

協 力:日吉町観光協会／ボランティアグループさくらんぼ

内 容:お正月のしめ飾りとして、大小3種類のしめ飾りをつくった。昼食には、休憩も兼ねて餅つきを行った。今回は子どもの参加もあり、参加者みんなで餅つきを楽しんだ。その後、資料館の畑から収穫した野菜を加え雑煮も作り食べた。

参加人数:18人

○「年中みそづくり」

実施日:平成29年3月12日(日) 午前10時～正午

場 所:南丹市日吉町郷土資料館かやぶき民家

指 導:ボランティアグループさくらんぼ

内 容:毎年この時期に仕込む年中みその体験講座でボランティアグループさくらんぼと共催で行っている。年中みそは文字通り毎日使うみその事で、白みそ同様、郷土の伝承料理として紹介している。

参加者人数:12人

☆調査研究事業

文化博物館

調査報告書として、「麻田浩創作ノート」を3月末に発刊した。このノートには、作品制作に係る当時の心境やラフスケッチなどが記されており、貴重な情報を後世に伝えてくれる。

この他の出版物としては、1年間の博物館活動をまとめた「博物館だより」を3月末に発刊を行った。

☆収蔵品保存事業

文化博物館・郷土資料館ともに平成28年度に寄贈を受けた資料について目録化を進めた。資料のガスくん蒸については、平成28年度寄贈分とあわせて、収蔵庫へ保管を行う予定。劣化の進んでいる寄贈資料や寄託資料などについては、必要に応じて補修・修繕を行った。特に、28年度については、28年3月に学校再編により閉校となった美山地域の小学校の資料を受入れ整理を行った。

また、例年、資料の目録化を進めているが、今年度についても昨年度に引き続き、特に、博物館・資料館で所蔵している記録写真のデータ化を行った。写真資料については、経年劣化が激しいため、デジタル化することにより、現状を記録することができる。また、写真を使用する場合、原資料を使用・貸し出しすることがなくなり、劣化・紛失が起こる可能性を防ぐことができる。

☆資料購入事業

町村合併し、南丹市が発足したことにより資料収集対象地域が拡大したが、市内に関する資料を幅広く収集することを目的として活動した。

特に、28年度は郷土出身の画家(大塚春嶺・田村宗立・麻田辨自・大塚春嶺など)の作品や市内の古文書などの収集に努めた。

文化財保護事業

☆南丹市国・府・市 指定文化財等件数

| 種 類 | | 国指定 | 国登録 | 府指定 | 府登録 | 市指定 | 合 計 |
|-------------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 有形文化財 | 建造物 | 6 | 7 | 6 | 8 | 17 | 44 |
| | 美術工芸品 | 2 | | 6 | 3 | 54 | 65 |
| 民俗文化財 | 有 形 | | | | | 1 | 1 |
| | 無 形 | 1 | | 2 | 10 | 2 | 15 |
| 記念物 | 史 跡 | | | 2 | | 1 | 3 |
| | 名 勝 | 1 | | | | | 1 |
| | 天然記念物 | | | 1 | | 8 | 9 |
| 伝統的建造物群保存地区 | | 1 | | | | | 1 |
| 計 | | 11 | 7 | 17 | 21 | 83 | 139 |

| | |
|---------------------------|-----|
| 府文化財環境保全地区 | 7地区 |
| 記録作成等の措置を講ずべき 無形の民俗文化財 | 1 |

☆審議会

1. 文化財保護審議会

南丹市文化財保護条例第9条の規定により、文化財保護審議会を設置し、文化財の保存及び活用を図るため、調査・研修等を行っている。構成員は旧町ごとに3人ずつ選出された委員と、大学教授3人の計15人で構成している。

(1) 第1回南丹市文化財保護審議会

- ・日時 11月14日(月)午後1時30分～
- ・場所 南丹市役所3号庁舎第4会議室
- ・内容 協議事項
 - ア. 文化財事業の報告(平成27年度)
 - イ. 博物館事業の報告(平成27年度)
 - ウ. 28年度事業の概要
 - エ. 文化財指定について
 - オ. 質疑応答
 - カ. その他

(2) 第2回南丹市文化財保護審議会

- ・日時 3月21日(火)午後2時～
- ・場所 南丹市立文化博物館

- ・内容 協議事項 ア. 天然記念物指定について
 - イ. 美術工芸品（書跡典籍）指定について
 - ウ. 答申書（案）について
 - エ. 質疑応答
 - オ. その他

2. 伝統的建造物群保存地区保存審議会

南丹市伝統的建造物群保存地区保存条例第13条第1項の規定により、伝統的建造物群保存地区審議会を設置し、保存地区の保存等に関する重要事項を調査、審議を行った。構成員は旧町ごとに3人ずつ選出された委員と、学識経験者1人、大学教授2人の15人で構成している。

(1) 南丹市伝統的建造物群保存地区保存審議会

- ・日時 3月6日（月）午後2時～
- ・場所 南丹市美山町北 北公民館
- ・内容 協議事項 ア. 伝建地区の現況
 - イ. 修理等事業報告について
 - ウ. 現状変更行為について
 - エ. その他（北区所有物件（小屋）の登録について）

☆文化財保護事業

1. 調査事業

(1) 天然記念物アユモドキ生息確認調査

〈現地調査〉

- ・実施日 第1回 5月26日（木）
- 第2回 9月21日（水）※荒天のため中止
- ・調査場所 桂川 上桂川統合堰（通称：寅天堰）下流
- ・調査概要 沈床ブロックの隙間や投網等による調査を実施した。
第2回は前日からの雨による河川増水のため中止となった。

(2) 市内文化財現況確認調査

美術工芸品、建造物、民俗文化財、景観などの主に未指定文化財について、現地確認を実施する。

〈美術工芸品〉

- ・小牧山東向観音堂（日吉町）
概要：33体観音像の修理。京都美術工芸大学校、殿田区との合同事業
- ・栄久院（美山町） 4月21日、7月27日、10月28日、12月7日、3月13日
概要：絹本着色釈迦十六善神像修理に係る事業
- ・最勝寺（美山町） 9月12日、9月13日
概要：古文書等の現地確認
- ・中風寺（美山町） 8月22日、9月15日、9月16日
概要：仏像調査
- ・行福寺（美山町） 9月29日
概要：仏像調査
- ・山水寺（美山町） 11月14日
概要：仏像調査

<建造物>

- ・龍穩寺（美山町） 4月21日、3月5日
概要：建造物の現地確認
- ・志波加神社（日吉町） 5月11日
概要：建造物の現地確認
- ・宝泉寺（美山町） 5月16日、8月26日
概要：補助金事業に係る修理内容の確認
- ・石田家住宅（美山町） 6月25日、3月2日、3月16日、3月31日
概要：管理事業の協議
- ・生身天満宮（園部町） 5月31日、7月19日、10月5日、3月7日
概要：実施事業の確認
- ・加茂神社（園部町） 1月13日
概要：本殿修理に係る協議
- ・蓮乗寺（美山町） 8月11日、11月25日
概要：修理協議及び国登録文化財指定に係る協議
- ・春日神社（八木町） 7月5日
概要：現況確認
- ・普濟寺（園部町） 7月29日、8月25日
概要：裏山の伐採に係る確認
- ・観景寺（美山町） 10月6日
概要：現地確認
- ・日吉神社（日吉町） 10月24日
概要：現地確認
- ・近藤家住宅（日吉町） 11月27日
概要：現地確認

<埋蔵文化財>

- ・島城（美山町） 5月27日、8月29日
概要：現地確認、測量立会
- ・温井古墳群（園部町） 12月2日、2月24日、3月22日
概要：開発に係る協議

<天然記念物>

- ・樹木調査（日吉町、園部町、八木町）平成28年6月8日、6月27日、6月30日、7月28日
概要：市指定文化財の指定に係る検討

2. 普及・啓発事業

(1) 刊行図書

下記の図書を刊行。

- ・南丹市文化財調査報告第26集
『南丹市内遺跡発掘調査報告書11』平成29年3月31日
- ・南丹市文化財調査報告第27集
『南丹市美山町佐々里区最勝寺法宝物調査報告書・仏像編』平成29年3月31日
- ・南丹市文化財調査報告第28集
『南丹市文化財調査報告書10』平成29年3月31日

(2) 歴史体験学習

小学校の授業の中で、現地見学を行った。

体験学習一覧

| 番号 | 学校名 | 日時 | 内容 | 備考 |
|----|---------|------|--------------|----|
| 1 | 園部第二小学校 | 5.10 | 縄文時代～古墳時代の話 | |
| 2 | 八木東小学校 | 5.14 | 多国山、刑部城跡現地見学 | |

(3) 美山町北重要伝統的建造物群保存地区視察対応

各地の市町村等が伝建地区を選定する動きがある中で、先進地として美山町北地区を視察のため来町された場合に、対応する。

- ・該当なし

(4) 文化財防火デー関連事業

文化財保護の認識と理解を深めるため、消防署の指導により文化財防火デーにかかる防火訓練と施設点検を実施した。

- ・日時 1月22日～29日
- ・場所 園部町・八木町・日吉町・美山町の各対象文化財
- ・内容 防火訓練・消防施設点検

文化財防火デー関連行事一覧

<防火訓練>

| 実施日時 | 実施場所 | 所在地 | 指定種別 |
|---------|-------|--------|----------------|
| 29.1.22 | 生身天満宮 | 園部町美園町 | 本殿（府指定文化財） |
| 29.1.22 | 岡安神社 | 日吉町四ツ谷 | 十六善神像（市指定文化財） |
| 29.1.29 | 神留寺 | 八木町神吉 | 釈迦如来坐像（市指定文化財） |
| 29.1.29 | 瀧明神 | 美山町大野 | |

<防火査察>

| 実施日時 | 実施場所 | 所在地 | 文化財名称 |
|---------|-------|--------|-----------------|
| 29.1.22 | 生身天満宮 | 園部町美園町 | 本殿（府指定文化財） |
| 29.1.23 | 玉岩地藏堂 | 日吉町四ツ谷 | 本堂（市指定文化財） |
| 29.1.23 | 多治神社 | 日吉町田原 | 本堂（府登録文化財） |
| 29.1.23 | 普門院 | 日吉町中世木 | 毘沙門天立像（府指定文化財） |
| 29.1.23 | 殿田成就院 | 日吉町殿田 | 毘沙門天立像（市指定文化財） |
| 29.1.24 | 行福寺 | 美山町三埜 | 大日如来坐像（国重要文化財） |
| 29.1.24 | 泉龍寺 | 美山町長谷 | 阿弥陀如来像（市指定文化財） |
| 29.1.24 | 小林家住宅 | 美山町下平屋 | 小林家住宅主屋（国指定文化財） |
| 29.1.25 | 本妙寺 | 美山町上司 | 薬師如来坐像（市指定文化財） |
| 29.1.25 | 栄久院 | 美山町和泉 | 地藏菩薩半跏像（市指定文化財） |
| 29.1.25 | 禅福寺 | 園部町高屋 | 阿弥陀如来座像 |
| 29.1.25 | 住吉神社 | 八木町西田 | 本殿（府指定文化財） |

☆維持管理事業

1. 美山町北防災施設維持管理事業

伝統的建造物群保存地区である美山町北の防災設備（放水銃等）に係る維持管理。年間の点検と共に、春と秋の年間2回、一斉放水を行い、放水銃の一斉点検を行う。

- ・第1回 5月20日（金）
- ・第2回 12月1日（木）

2. 重要文化財石田家住宅維持管理事業

重要文化財の維持管理及び公開事業。

敷地内の蔵の壁の剥がれ等により倒壊の危険があるため、本年度は未実施。

3. 史跡黒田古墳環境整備事業

京都府指定の史跡で、古墳公園として整備されている黒田古墳公園の環境整備を行う。

- ・所在地 園部町黒田
- ・面積 2,097 m²
- ・事業内容 公園内草刈、障害樹木伐採等

☆補助事業

1. 南丹市美山町北伝統的建造物群保存地区保存修理修景事業

南丹市美山町北伝統的建造物群保存地区は、平成5年（1993）12月8日、全国で36番目の国の重要伝統的建造物群保存地区に選定され、同年「美しい町づくり条例」を制定し、豊かな自然と茅葺民家に代表される歴史的な景観を有する町として内外から大きな注目を集めている。保存事業は、保存地区にある個々の建造物の修理修景事業を中心として進めている。

修理6件、合計6件

（南丹市伝建補助金総額 16,651千円 [*国庫補助・府伝建補助金含む]）

南丹市美山町北伝統的建造物群保存地区事業一覧

| 番号 | 区分 | 記号 | 概要 | 事業費（円） |
|----|----------|--------|----------|-----------|
| 1 | 中野 里司家住宅 | S-01-① | 主屋茅葺屋根修理 | 4,418,000 |
| 2 | 中野 里司家住宅 | S-01-① | 主屋杉皮葺庇修理 | 1,718,000 |
| 3 | 中野 浩喜家住宅 | S-04-① | 主屋外壁修理 | 725,000 |
| 4 | 前田 征紀家住宅 | M-01-① | 主屋杉皮葺庇修理 | 2,880,000 |
| 5 | 中野 秀雄家住宅 | K-12-① | 主屋茅葺屋根修理 | 5,051,000 |
| 6 | 筒井 恒明家住宅 | N-10-① | 主屋杉皮葺庇修理 | 5,757,000 |

2. 茅葺民家保存修理事業

南丹市美山町内に現存する北山型住宅の茅葺屋根を保存し、美しい町並みと集落景観を守るため、要綱に基づき補助金を交付する。

修理件数7件（南丹市補助金総額 *5,092千円）

茅葺民家保存修理事業一覧

| 番号 | 区分 | 概要 | 所在地 | 補助金額（円） |
|----|---------|--------|-----|-----------|
| 1 | 足利榮治家住宅 | 茅葺屋根葺替 | 小淵 | 1,533,000 |
| 2 | 菅生哲二家住宅 | 茅葺屋根葺替 | 長谷 | 1,513,000 |
| 3 | 外山保男家住宅 | 茅葺屋根葺替 | 静原 | 318,000 |

| | | | | |
|---|----------|--------|----|---------|
| 4 | 竹澤朝四郎家住宅 | 茅葺屋根葺替 | 島 | 581,000 |
| 5 | 井上稔彦家住宅 | 茅葺屋根葺替 | 田歌 | 213,000 |
| 6 | 磯部清太郎家住宅 | 茅葺屋根葺替 | 長尾 | 580,000 |
| 7 | 中島紀子家住宅 | 茅葺屋根葺替 | 長谷 | 354,000 |

3. 南丹市文化財等補助事業

市内に所在する国・府・市の指定文化財並びに未指定文化財等に対して、要綱に基づき補助金を交付する。

修理等件数 24 件（市補助金総額 4,441 千円）

(1) 主な修理事業

<京都府指定・登録文化財等補助事業>

・摩気神社

事業概要：東西摂社覆屋茅葺屋根修理工事

事業費：2,297 千円（府；1,460 千円、市 418 千円）

<京都府文化財を守り伝える京都府基金等事業費補助事業>

・大原神社

事業概要：本殿修理工事

事業費：2,530 千円（府；1,686 千円、市 422 千円）

補助金事業一覧

| (1) 国指定文化財維持管理費補助事業 | | | | | | |
|---------------------------|------------|----------|-----------|-----------|---------|---------|
| 名称 | 文化財名称 | 事業内容 | 事業費 | 府補助 | 地元 | 市補助 |
| 九品寺 | 大門 | 防災設備保守点検 | 36,720 | 7,000 | 15,720 | 14,000 |
| 普濟寺 | 仏殿 | 防災設備保守点検 | 38,880 | 9,000 | 15,880 | 14,000 |
| 春日神社 | 本殿 | 防災設備保守点検 | 88,560 | 21,000 | 34,560 | 33,000 |
| 大山祇神社 | 本殿 | 防災設備保守点検 | 44,280 | 12,000 | 16,280 | 16,000 |
| (2) 国指定文化財等補助金 | | | | | | |
| 普濟寺 | 仏殿 | 危険木伐採 | 1,721,273 | 1,118,000 | 503,273 | 100,000 |
| (3) 京都府指定・登録文化財等維持管理費補助事業 | | | | | | |
| 名称 | 文化財名称 | 事業内容 | 事業費 | 府補助 | 地元 | 市補助 |
| 摩気神社 | 本殿・東西摂社 | 防災設備保守点検 | 61,020 | 27,000 | 17,020 | 17,000 |
| 鹿嶋神社 | 本殿 | 防災設備保守点検 | 41,040 | 12,000 | 15,040 | 14,000 |
| 荒井神社 | 本殿 | 防災設備保守点検 | 54,000 | 12,000 | 21,000 | 21,000 |
| 多治神社 | 府文化財環境保全地区 | 環境整備 | 88,766 | 19,000 | 35,766 | 34,000 |
| 知井八幡神社 | 本殿 | 防災設備保守点検 | 43,200 | 9,000 | 17,200 | 17,000 |
| 生身天満宮 | 府文化財環境保全地区 | 環境整備 | 420,000 | 93,000 | 227,000 | 100,000 |

| | | | | | | |
|----------------------------------|-----------------|------------------|------------|-----------|------------|---------|
| 生身天満宮 | 府文化財環境保全地区 | 小修理 | 122,040 | 33,000 | 45,040 | 44,000 |
| (4) 京都府指定・登録文化財等補助事業 | | | | | | |
| 名 称 | 文化財名称 | 事業内容 | 事業費 | 府補助 | 地 元 | 市補助 |
| 摩気神社 | 本殿 | 東西摂社覆屋 茅葺屋根修理 | 2,297,000 | 1,460,000 | 419,000 | 418,000 |
| (5) 京都府社寺等文化資料保全補助事業 | | | | | | |
| 名 称 | 文化財名称 | 事業内容 | 事業費 | 府補助 | 地 元 | 市補助 |
| 蓮乗寺 | 本堂 (未指定) | 本堂屋根葺替 | 26,978,400 | 1,418,000 | 25,060,400 | 500,000 |
| 栄久院 | 絹本 (未指定) | 保存修理 | 3,168,720 | 567,000 | 2,301,720 | 300,000 |
| 加茂神社 | 本殿 (未指定) | 本殿改修 | 3,370,464 | 1,194,000 | 1,676,464 | 500,000 |
| 生身天満宮 | 宝物蔵 (未指定) | 宝物蔵修繕 | 864,000 | 306,000 | 279,000 | 279,000 |
| 浄教寺 | 紙本 (未指定) | 保存修理 | 2,098,440 | 567,000 | 1,231,440 | 300,000 |
| 普門院 | 本堂 (未指定) | 樋、縁板、堂内修理 | 1,157,424 | 410,000 | 374,424 | 373,000 |
| 胡麻日吉神社 | 拝殿 (未指定) | 屋根修理 | 475,200 | 168,000 | 154,200 | 153,000 |
| 大隠寺 | 山門及び袖 塀(未指定) | 保存修理 | 1,308,344 | 463,000 | 423,344 | 422,000 |
| (6) 文化財を守り伝える京都府基金等事業費補助金 | | | | | | |
| 名 称 | 文化財名称 | 事業内容 | 事業費 | 府補助 | 地 元 | 市補助 |
| 大原神社 | 本殿 (未指定) | 本殿修理 | 2,530,200 | 1,686,000 | 422,200 | 422,000 |
| 加茂神社 | 覆屋 (未指定) | 覆屋改修 | 3,938,914 | 1,396,000 | 2,192,914 | 350,000 |

☆埋蔵文化財発掘調査事業

1. 立会調査

文化財保護法に基づく発掘調査の届出を基に開発事業との調整を図る。

立会調査件数 5件

届出通知件数一覧

| | 埋蔵文化財発掘届出（民間） | | | | 埋蔵文化財発掘届出（公共） | | |
|-----|---------------|------|------|-----|---------------|------|------|
| | 工事立会 | 慎重工事 | 発掘調査 | その他 | 発掘調査 | 工事立会 | 慎重工事 |
| 計 | 3 | 26 | 0 | 4 | 1 | 2 | 0 |
| 総合計 | 36 | | | | | | |

2. 発掘調査

間伐事業等に伴い発掘調査等を実施

南丹市が実施した調査

| 番号 | 遺跡名 | 回数 | 所在地 | 調査原因 | 調査種別 |
|----|-------|----|-------|---------|------|
| 1 | 温井古墳群 | | 園部町横田 | 太陽光発電事業 | 測量 |

3. 保存処理

金属器の保存処理は、国庫補助事業として業務を委託し、実施した。

出土遺物保存処理一覧

| 番号 | 出土地 | 種類 | 点数 | 備考 |
|----|--------|-----|----|----|
| 1 | 城谷口古墳群 | 鉄鏃等 | 31 | |
| 2 | 坊田古墳群 | 鉄刀等 | 9 | |
| 合計 | | | 40 | |

平成 29 年度 文化財・博物館事業

| | | | |
|------------------|----------|---|--|
| 展示会事業 | 文化博物館 | 4月15日～ 5月28日 | <p>春季企画展 「学校のあゆみ～美山地区編～」 旧美山地域の学校が所有した歴史資料や民俗資料を展示するとともに学校の歴史についても紹介する。</p> |
| | | 7月22日～ 9月18日 | <p>夏季企画展 「小出文庫」 平成29年4月、新たに市指定文化財となった「小出文庫」の魅力を紹介する。小出文庫は、園部藩主小出氏の蔵書や藩校で使用されたと伝わる書籍群の総称で、和書・漢籍ともにさまざまな書物がある。</p> |
| | | 7月22日～ 9月18日 | <p>夏季特集展 「戦争と子どもたち」 本展は、戦時中の子どもたちにスポットをあてる。戦争が激しくなると人々は年齢や性別に関係なく戦禍に巻き込まれていくことになる。特に子どもたちが体験した、学童疎開・学徒動員・軍事教練などについて紹介する。</p> |
| | | 9月30日～ 11月26日 | <p>秋季特別展 「麻田浩展」 平成29年は八木町出身の画家麻田辨自の二男、浩の没後20年にあたる。この節目の年に、初期から晩年までの作品を紹介する。</p> |
| | | 3月下旬～ 5月上旬 | <p>春季特集展 「村上公也展」 独立協会展等で活躍中の園部町木崎町出身の作家、村上公也氏が描いた高校時代の作品から現在作まで紹介する。</p> |
| | 日吉町郷土資料館 | 7月15日～ 9月10日 | <p>夏季企画展 「井上辰夫展」 平成29年は日吉ダム建設に伴い離村後30年をむかえる。これを節目に、消えゆく風景をキャンバスに描き続けた画家・井上辰夫の作品展を紹介する。</p> |
| 9月16日～ 12月10日 | | <p>秋季企画展 「天若の暮らし」 日吉ダム建設前に撮りためられた写真で、中・天若の暮らしを紹介する。</p> | |

| | | | |
|--------------|------------------|----------------|---|
| | | 1月中旬～3月中旬(予定) | 収蔵品展「昔の道具展」 毎年、小学3年生暮らしの中でこのような道具に焦点をあて、先人たちの知恵と工夫や、材質のあたたかさを来館者に感じていただく機会を提供する。 |
| 体験講座事業 | 郷土資料館体験講座 | 3回 | 伝統文化継承のため、体験を通じて地域の人々から学ぶ場を提供する。展示会関連講座や郷土食などに関連した事業を移築民家で開催する。 |
| 調査研究事業 | 収集資料の整理・調査研究等 | 通年 | 市内の歴史的事象についての調査研究活動を行う。市に関連する資料や事象に対して、調査研究活動を行う。また、京都縦貫道延伸に伴い取り壊された岩崎革也家の資料調査を進める。 |
| 収蔵資料保存事業 | 収蔵資料保存 | 通年 | 市内にある文化財保存・整理を行う。資料の劣化を防ぐ目的で、収蔵資料のガスくん蒸業務を行う。 |
| 文化財保護 | | | |
| 審議会 | 文化財保護審議会 | 年1～2回 | 文化財の保存及び活用を図るため、調査・審議を行う。 |
| | 伝統的建造物群保存地区保存審議会 | 年1～2回 | 美山町の保存地区の保存等に関する調査・審議を行う。 |
| 保護事業 | アユモドキ生息調査 | 5月～9月 | 天然記念物であるアユモドキの生息について調査・研究を行う。 |
| | 文化財調査事業 | 通年 | 小牧山東向観音堂三十三体観音像の修理事業を京都美術工芸大学等と連携して進める。真宗寺院調査を大谷大学と連携して進める。補助事業に伴う未指定文化財の緊急調査などを行う。 |
| | 普及・啓発事業 | 通年 | 各種調査事業の報告書を刊行すると共に、文化財防火デーに伴う防火査察等を実施する。 |
| 維持管理事業 | 北防災施設維持管理事業 | 通年 (放水は年2回) | 国宝重要伝統的建造物群保存地区に指定されている美山町北地区の防災施設(放水銃等)の維持管理。 |
| | 石田家住宅維持管理事業 | 4月～11月 | 重要文化財の維持管理及び公開事業(土・日・祝祭日)を行う。 ※敷地内に危険個所があるため現在は公開を見合わせている。 |

| | | | |
|-----------|---------------------|-------|---|
| | 史跡黒田古墳管理事業 | 年2～3回 | 京都府指定の史跡である古墳公園の環境整備に努める。 |
| 補助事業 | 文化資料保全事業 | 通年 | 国・府・市の指定文化財及び未指定の文化財に係る修理等の保全に対し、指導助言を行うと共に、補助金要綱に基づき支援する。 |
| | かやぶき屋根保存修理事業 | 通年 | 美山町に現存する北山型住宅のかやぶき屋根を保存し、美しい景観を守るための事業に対し、補助金要綱に基づき支援する。 |
| | 重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業 | 通年 | 保存地区における建造物及び環境物件等の修理、修景又は復元について所有者等に対し、その経費の一部を補助する。葺替は原則80%、その他は原則50%の補助。 |
| 埋蔵文化財調査事業 | 埋蔵文化財発掘調査事業 | 9月～3月 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 遺跡保存に向けた測量調査（園部町穴人：国庫補助事業） ・ 出土遺物保存処理（坊田古墳群出土鉄製品：国庫補助事業） ・ 各種開発事業との調整 |

文化財保護

南丹市国・府・市 指定文化財等件数

平成29年7月31日現在

| 種 類 | | 国指定 | 国登録 | 府指定 | 府登録 | 市指定 | 合 計 |
|-------------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 有形文化財 | 建造物 | 6 | 7 | 6 | 8 | 17 | 44 |
| | 美術工芸品 | 2 | | 6 | 3 | 55 | 66 |
| 民俗文化財 | 有 形 | | | | | 1 | 1 |
| | 無 形 | 1 | | 2 | 10 | 2 | 15 |
| 記念物 | 史 跡 | | | 2 | | 1 | 3 |
| | 名 勝 | 1 | | | | | 1 |
| | 天然記念物 | | | 1 | | 11 | 12 |
| 伝統的建造物群保存地区 | | 1 | | | | | 1 |
| 計 | | 11 | 7 | 17 | 21 | 87 | 143 |

| | |
|---------------------------|-----|
| 府文化財環境保全地区 | 7地区 |
| 記録作成等の措置を講ずべき 無形の民俗文化財 | 1 |

☆審議会

1. 文化財保護審議会

南丹市文化財保護条例第9条の規定により、文化財保護審議会を設置し、文化財の保存及び活用を図るため、調査・研修等を行っている。構成員は旧町ごとに3名ずつ選出された委員と、大学教授3名の計15名で構成している。

2. 伝統的建造物群保存地区保存審議会

南丹市伝統的建造物群保存地区保存条例第13条第1項の規定により、伝統的建造物群保存地区審議会を設置し、保存地区の保存等に関する重要事項を調査、審議を行った。構成員は旧町ごとに3名ずつ選出された委員と、学識経験者1名、大学教授2名の15名で構成している。

☆文化財保護事業

1. 調査事業

(1) 天然記念物アユモドキ生息確認調査

〈現地調査〉

- ・実施日 第1回 平成29年5月26日(金)
第2回 平成29年9月15日～25日(予定)
- ・調査場所 桂川 上桂川統合堰(通称:寅天堰)下流
- ・調査概要 沈床ブロックの隙間や投網等による調査を実施した。

(2) 市内文化財現況確認調査

美術工芸品、建造物、民俗文化財、景観などの主に未指定文化財について、現地確認を実施する。

2. 普及・啓発事業

(1) 歴史体験学習

小学校の授業の中で、現地見学を行う。

(2) 美山町北重要伝統的建造物群保存地区視察対応

各地の市町村等が伝建地区を選定する動きがある中で、先進地として美山町北地区を視察のため来町された場合に対応する。

- ・タイ視察団:平成29年5月31日(水)午後1時
視察目的:タイの伝建制度導入に向けた先進地視察
視察者:チュラロンコン大学建築学部 タードサック博士
タイ研究財団副所長 スパワディー博士 他

(3) 文化財防火デー関連事業

文化財保護の認識と理解を深めるため、消防署の指導により文化財防火デーにかかる防火訓練と施設点検を実施する。

- ・内容 防火訓練・消防施設点検

☆維持管理事業

1. 美山町北防災施設維持管理事業

伝統的建造物群保存地区である美山町北の防災設備(放水銃等)に係る維持管理。年間の点検と共に、春と秋の年間2回、一斉放水を行い、放水銃の一斉点検を行う。

- ・第1回 平成28年5月20日(土)
- ・第2回 平成28年12月1日(金)

2. 重要文化財石田家住宅維持管理事業

重要文化財の維持管理及び公開事業。

敷地内の蔵の壁の剥がれ等により倒壊の危険があるため、本年度に土蔵の解体を実施。

3. 史跡黒田古墳環境整備事業

京都府指定の史跡で、古墳公園として整備されている黒田古墳公園の環境整備を行う。

- ・所在地 園部町黒田

- ・面積 2,097 m²
- ・事業内容 公園内草刈、障害樹木伐採等

☆補助事業

1. 南丹市美山町北伝統的建造物群保存地区保存修理修景事業

南丹市美山町北伝統的建造物群保存地区は、平成5年(1993)12月8日、全国で36番目の国の重要伝統的建造物群保存地区に選定され、同年「美しい町づくり条例」を制定し、豊かな自然と茅葺民家に代表される歴史的な景観を有する町として内外から大きな注目を集めている。保存事業は、保存地区にある個々の建造物の修理修景事業を中心として進めている。

修理10件、復元1、合計11件

(南丹市伝建補助金総額 16,615千円 [*国庫補助・府伝建補助金含む])

南丹市美山町北伝統的建造物群保存地区事業一覧

| 番号 | 区分 | 記号 | 概要 | 事業費(円) |
|----|----------|--------|----------|-----------|
| 1 | 中野 幹子 | K-06-① | 茅葺屋根修理 | 5,187,000 |
| 2 | 中野 清子 | S-03-① | 茅葺屋根修理 | 5,161,000 |
| 3 | 中野 修 | S-06-③ | 主屋外壁修景 | 3,207,000 |
| 4 | 辻 正彦 | N-08-⑨ | 石垣修理 | 3,451,000 |
| 5 | 勝山 直 | | 石垣修理 | 1,792,000 |
| 6 | 八幡神社 | M-02-⑩ | 八幡神社摂社修景 | 840,000 |
| 7 | 北区小屋(外壁) | K-04-③ | 小屋外壁修理 | 4,104,000 |
| 8 | 北区小屋(屋根) | K-04-③ | 小屋茅葺屋根復元 | 7,506,000 |
| 9 | 中野 忠樹 | | 主屋離れ外壁修景 | 4,133,000 |
| 10 | 中野 俊一 | N-05-① | 主屋瓦屋根修理 | 758,000 |
| 11 | 中野 常久 | I-02-① | 主屋瓦屋根修理 | 632,000 |

2. 茅葺民家保存修理事業

南丹市美山町内に現存する北山型住宅の茅葺屋根を保存し、美しい町並みと集落景観を守るため、要綱に基づき補助金を交付する。

修理件数4件(南丹市補助金総額 *4,801千円)

茅葺民家保存修理事業一覧

| 番号 | 区分 | 概要 | 所在地 | 補助金額(円) |
|----|----------|--------|-----|-----------|
| 1 | 吉岡捷三家住宅 | 茅葺屋根葺替 | 大野 | 697,000 |
| 2 | 村田チエノ家住宅 | 茅葺屋根葺替 | 島 | 1,603,000 |
| 3 | 磯部清太郎家住宅 | 茅葺屋根葺替 | 野添 | 182,000 |
| 4 | 佐々木民子家住宅 | 茅葺屋根葺替 | 原 | 2,319,000 |

3. 南丹市文化財等補助事業

市内に所在する国・府・市の指定文化財並びに未指定文化財等に対して、要綱に基づき補助金を交付する。

修理等件数 11 件

(1) 主な修理事業

<京都府指定・登録文化財等補助事業>

- ・摩気神社（平成 28～29 年度 2 か年事業）

事業概要：本殿東西摂社覆屋茅葺屋根（北面）修理工事

事業費：2,197 千円【29 年度】（府 1,400 千円、市 398 千円）

補助金事業一覧

(1) 国指定文化財維持管理費補助事業

| 名称 | 文化財名称 | 事業内容 | 事業費 | 府補助 | 地元 | 市補助 |
|-------|-------|----------|--------|--------|--------|--------|
| 九品寺 | 大門 | 防災設備保守点検 | 36,720 | 7,000 | 15,720 | 14,000 |
| 普濟寺 | 仏殿 | 防災設備保守点検 | 38,880 | 9,000 | 15,880 | 14,000 |
| 春日神社 | 本殿 | 防災設備保守点検 | 88,560 | 21,000 | 34,560 | 33,000 |
| 大山祇神社 | 本殿 | 防災設備保守点検 | 44,280 | 12,000 | 16,280 | 16,000 |
| 小林家住宅 | 住宅 | 防災設備保守点検 | 86,400 | — | — | — |

(2) 京都府指定・登録文化財等維持管理費補助事業

| 名称 | 文化財名称 | 事業内容 | 事業費 | 府補助 | 地元 | 市補助 |
|-------|------------|----------|-----------|--------|--------|--------|
| 摩気神社 | 本殿・東西摂社 | 防災設備保守点検 | 72,360 | — | — | — |
| 摩気神社 | 府文化財環境保全地区 | 環境整備 | 1,520,985 | — | — | — |
| 鹿嶋神社 | 本殿 | 防災設備保守点検 | 41,040 | 12,000 | 15,040 | 14,000 |
| 荒井神社 | 本殿 | 防災設備保守点検 | 54,000 | — | — | — |
| 荒井神社 | 本殿 | 覆屋・拝殿修理 | 528,120 | — | — | — |
| 多治神社 | 府文化財環境保全地区 | 環境整備 | 88,766 | — | — | — |
| 八幡神社 | 本殿 | 防災設備保守点検 | 43,200 | 9,000 | 17,200 | 17,000 |
| 生身天満宮 | 府文化財環境保全地区 | 環境整備 | 450,000 | — | — | — |

(— : 未決定)

(3) 京都府指定・登録文化財等補助事業

| 名称 | 文化財名称 | 事業内容 | 事業費 | 府補助 | 地元 | 市補助 |
|-------|---------|--------------|-----------|-----------|---------|---------|
| 摩気神社 | 本殿・東西摂社 | 東西摂社覆屋茅葺屋根修理 | 2,197,000 | 1,400,000 | 399,000 | 398,000 |
| 生身天満宮 | | 秋葉社周囲排水溝整備 | 975,240 | — | — | — |

(4) 京都府社寺等文化資料保全補助事業

| 名 称 | 事業種別 | 事業内容 | 事業費 | 府補助 | 地 元 | 市補助 |
|-------------------------------|---------------|------------------|------------|-----|-----|-----|
| 竹澤家住宅 | 建造物 (未指定) | 茅葺屋根修理 | 4,521,420 | — | — | — |
| 村田家住宅 | 建造物 (未指定) | 主屋修理 | 4,036,253 | — | — | — |
| 慈久神社 | 建造物 (未指定) | 拝殿修理 | 1,296,000 | — | — | — |
| 志波加神社 | 建造物 (未指定) | 拝殿修理 | 203,580 | — | — | — |
| 熊原太神宮 社 | 建造物 (未指定) | 覆屋修理 | 0 | — | — | — |
| 浄教寺 | 美術工芸 (未指定) | 紙本墨画保存修理 | 1,933,200 | — | — | — |
| 大隠寺 | 美術工芸 (未指定) | 仏像修理 | 1,811,160 | — | — | — |
| 深見寺 | 建造物 (未指定) | | 0 | — | — | — |
| 天引神風講 | 建造物 (未指定) | 弁財天社覆屋屋根 改修工事 | 504,954 | — | — | — |
| 多治神社 (田原の御 田：国指定 無形) | 無形民俗 (府指定) | 天狗面等祭礼道具 修理 | 278,640 | — | — | — |
| 龍穩寺 | 建造物 (未指定) | 庫裏屋根修理 | 12,600,000 | — | — | — |

☆ 埋蔵文化財発掘調査事業

1. 立会調査

文化財保護法に基づく発掘調査の届出を基に開発事業との調整を図る。

立会調査件数 3件（7月時点）

届出通知件数一覧

| | 埋蔵文化財発掘届出（民間） | | | | 埋蔵文化財発掘届出（公共） | | |
|-----|---------------|------|------|-----|---------------|------|------|
| | 工事立会 | 慎重工事 | 発掘調査 | その他 | 発掘調査 | 工事立会 | 慎重工事 |
| 計 | 2 | 9 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 |
| 総合計 | 14 | | | | | | |

2. 発掘調査

太陽光発電事業に伴い発掘調査等を実施

南丹市が実施した調査

| 番号 | 遺跡名 | 次数 | 所在地 | 調査原因 | 調査種別 |
|----|--------|----|--------------------|----------|------|
| 1 | カシヅケ古墳 | 1 | 園部町小山東町 | 太陽光発電のため | 試掘 |
| 2 | 原ヶ谷古墳 | 1 | 園部町小山東町・ 八木町室河原 | 太陽光発電 | 本調査 |

南丹市八木町・園部町太陽光発電業務に係る発掘調査関係者説明会資料

1. はじめに

南丹市八木町・園部町で計画されている太陽光発電事業により影響をうける遺跡について埋蔵文化財調査を実施するものである。該当遺跡については、うさの古墳、宮越古墳、カシツケ古墳群、原ヶ谷古墳の4遺跡でこの内、うさの古墳、宮越古墳については、測量調査に基づき現状で保存されることになり、カシツケ古墳群、原ヶ谷古墳が調査対象となった。カシツケ古墳は調査を進める中で葺石、埴輪をもつ古墳であることが判明し、現状保存が望まれることから計画を一部変更し、現状保存されることになった。原ヶ谷古墳については今回新たに発見された古墳で、記録保存し工事を進めることとなった。

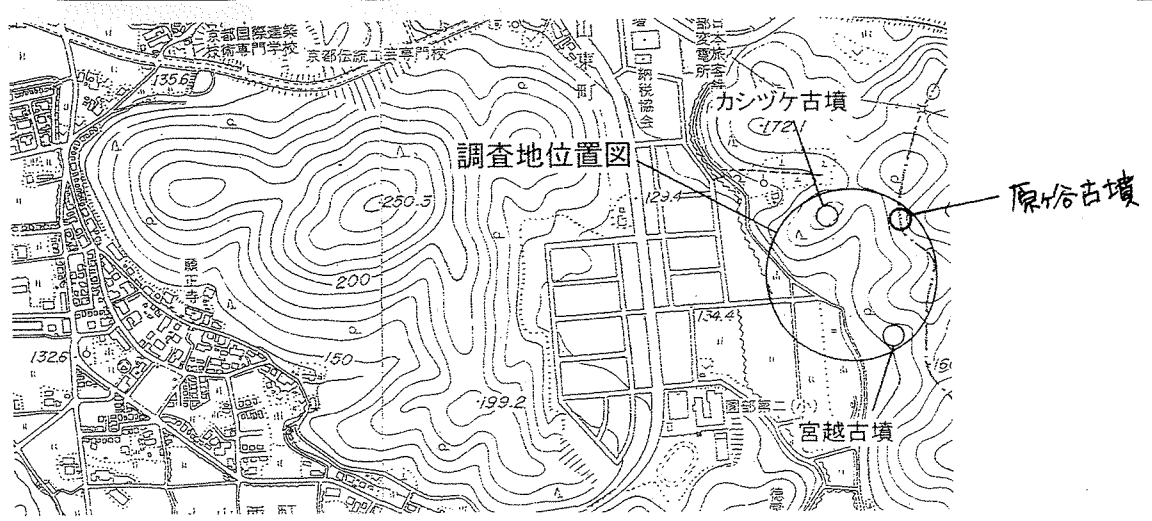
2. 調査の成果

(カシツケ古墳の調査成果)

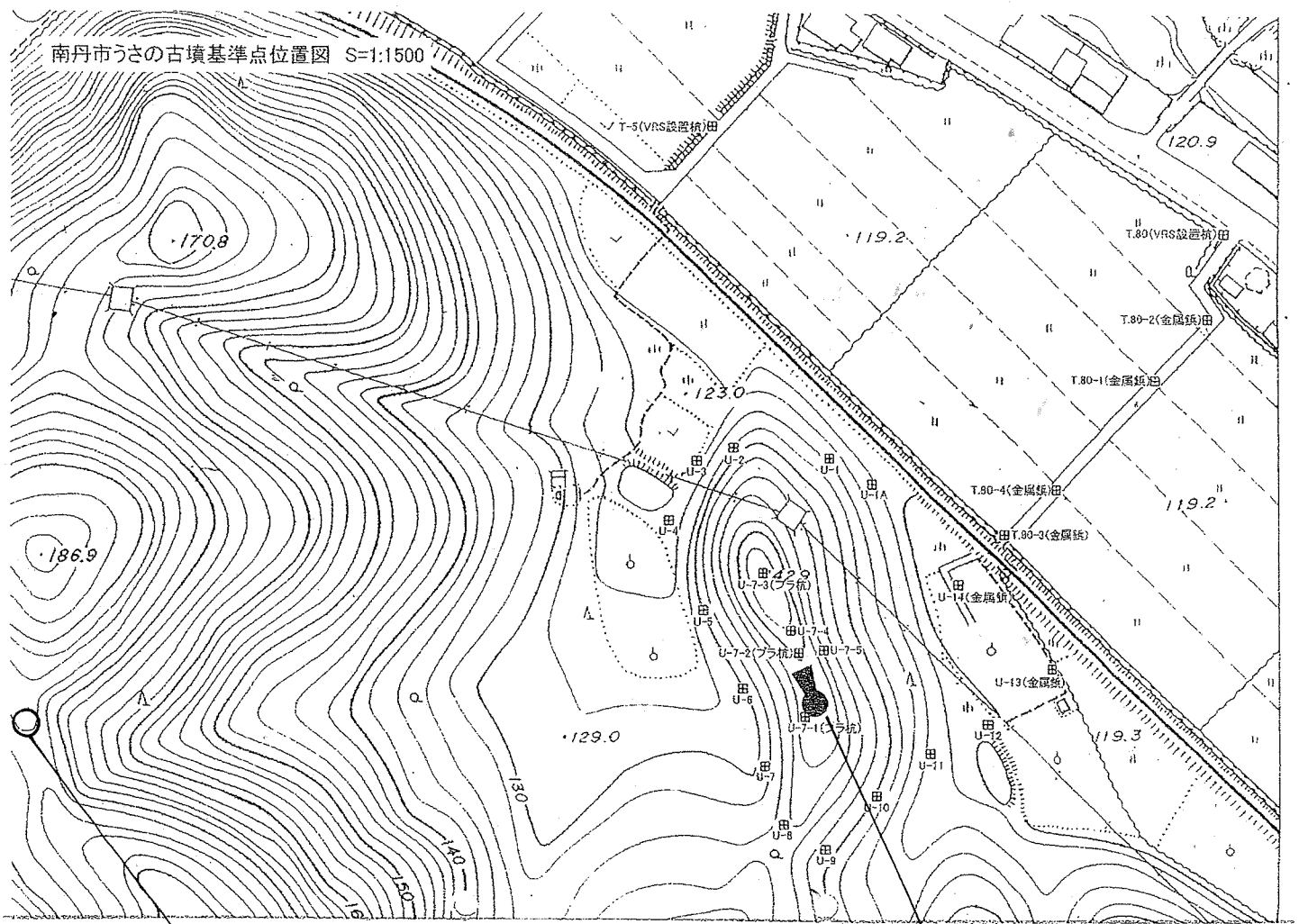
カシツケ1号墳は丘陵先端に築かれた古墳で一遍13mの方墳と考えられる。墳丘には葺石を葺き、墳丘裾からは立った状態で埴輪が検出された。埴輪に距離は東側トレンチで検出した状態で1.2mを測る。葺石は墳丘裾に散乱した状態で確認され、その中から埴輪がみられることから当初は、墳丘裾だけでなく、墳頂にも埴輪が並べられていたものと考えられる。埴輪は円筒埴輪の他、朝顔型も見られ、西側の埴輪が集中して見られる箇所では家型と思われる埴輪が出土している。これら埴輪に混じり、少量の須恵器も出土しており、これらの遺物から5世紀末頃の時期に築造された古墳であると考えられる。この時期には徳雲寺谷においては徳雲寺北古墳群が形成されており、小さな谷の中で墓域が谷の南や東西に広がっている状況が確認できた。

(原ヶ谷古墳の調査成果)

原ヶ谷古墳は丘陵稜線上にある古墳で直径11mの円墳で西側と南側が膨れた形のいびつな円形を呈する。中央から北東に寄った位置に主体部があり、主体部上面からは須恵器が出土している。墓壙は4m×2mを測る。木棺の木口部分には石を粘土で固めた木口押さえを両側に持ち木棺の木口の押さえとしている。木棺の痕跡は2m×1mを測り中からは鉄刀1、刀子1、鉄鏃2が出土している。須恵器の型式から推測される築造年代は6世紀前半と考えられる。原ヶ谷古墳はカシツケ1号墳に続く時期に造られた古墳で同一丘陵に連綿と古墳が造られたことが確認できた。



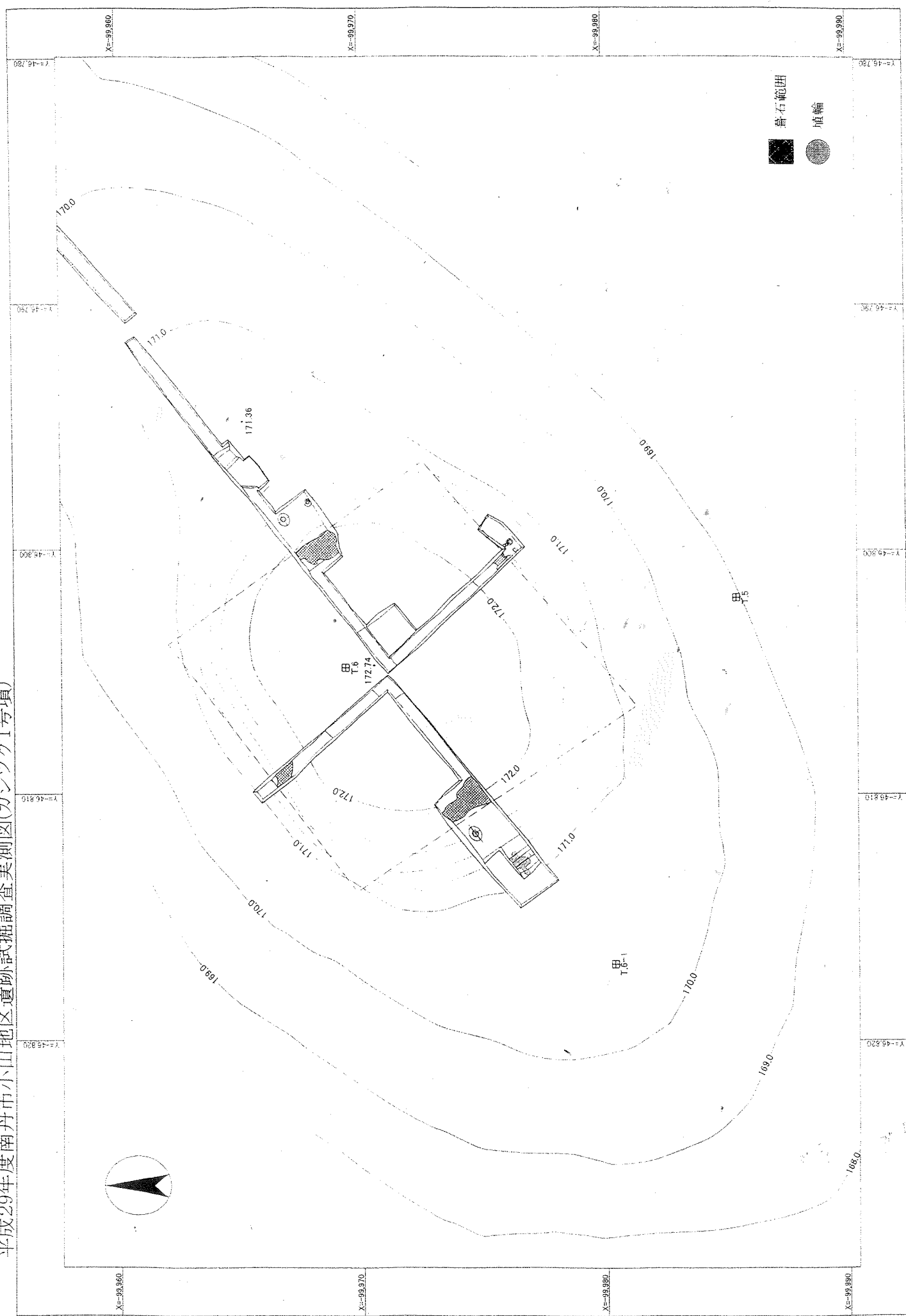
宮越古墳・カシツケ古墳調査地位置図 (1/10000)



原ヶ谷古墳

うさの古墳

平成29年度南丹市小山地区遺跡試掘調査実測図(カシヅケ1号墳)



平成29年度 原ヶ谷古墳調査トレンチ全体図

